



# あつま

3月定例会号

No. 182

令和3年5月発行

# 議会だより



<b>被害が出た災害公営住宅</b>	令和3年第1回定例会・補正予算	2～3
	令和3年第1・2回臨時会、全員協議会	4～5
	令和3年度予算を認定	6～9
	<b>委員会活動レポート</b>	
	総務文教常任委員会	10
	産業建設常任委員会	11
	北海道胆振東部地震復興特別委員会	12
	一般質問「ここが聞きたい」伊藤富志夫、橋本 豊、高田芳和、下司義之、 秋永 徹5氏が問う	13～17
	議決案件（賛否状況）	18～19
	議会のうごき、文化活動団体紹介（大正琴愛好会）	20

# 3月定例会

第1回定例会が3月8日(16日)に開催され、町長の施政方針および行政報告、教育長の教育行政執行方針、5人の議員による一般質問のほか、議案31件、報告5件などを審議した。また、会期中に予算審査特別委員会が開催され、令和3年度各会計予算は全会一致で可決した。他に、両常任委員会の所管事務調査、特別委員会の調査報告、全員協議会が開催された。

**議案第1号** 議案第6号  
令和3年度厚真町各会計  
予算

令和3年度各会計予算  
については、6ページに  
掲げられている。

**承認第1号**  
専決処分の承認

令和2年度厚真町一般会  
計補正予算(第16号)

歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ100  
0万円追加し、歳入歳出  
の総額を152億951  
8万円とする。

除雪委託料に不足が生  
じたため。

**議案第7号**  
令和2年度厚真町一般会  
計補正予算(第17号)

歳入歳出予算の総額か  
ら歳入歳出それぞれ6億  
7384万円減額し、歳  
入歳出の総額を146億  
2133万円とする。

主な事業は医療福祉介

護保育従事者慰労金交付  
事業、公営住宅維持補修  
事業等。

**議案第8号**

令和2年度厚真町国民健  
康保険事業特別会計補正  
予算

歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ180  
1万円追加し、歳入歳出  
の総額を6億4056万  
円とする。

**議案第9号**

令和2年度厚真町簡易水  
道事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額か  
ら歳入歳出それぞれ34  
58万円減額し、歳入歳  
出の総額を7億1794  
万円とする。

**議案第10号**

令和2年度厚真町公共下  
水道事業特別会計補正予  
算

歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ73万円

追加し、歳入歳出の総額  
を2億3750万円とす  
る。

**議案第11号**  
厚真町教育研究所の設置  
に関する条例の制定

制定の趣旨

小中一貫教育の連続し  
た豊かな学び、自立して  
社会を生きる基礎を育み、  
新時代を担える子ども育  
成に資する理論と実践の  
研究等を行う教育研究所  
設置に関する条例制定。

施行期日

この条例は、令和3年  
4月1日から施行する。

**議案第12号**

厚真町議会議員及び厚真  
町長の選挙における選挙  
運動の公費負担に関する  
条例の制定

制定の趣旨

公職選挙法一部改正に  
伴い、選挙運動用自動車  
の使用、選挙運動用ピラ  
の作成及び選挙運動用ポ  
スターの作成の費用を公  
費負担とする。

施行期日

この条例は、公布の日  
から施行する。

**議案第14号**  
厚真町表彰条例の一部改  
正

表彰式を毎年文化の日  
にしていたが、毎年11  
月1日に変更した。

**議案第15号**

厚真町循環福祉バス運行  
条例の一部改正

循環福祉バスの運行見  
直しに向けた実証運行実  
施のため、「循環福祉バ  
ス」を「デマンド交通」  
に改め、利用対象者を全  
住民に拡げ、運行路線等  
を変更した。

**議案第16号**

厚真町介護保険条例の一  
部改正

改正の趣旨

厚真町介護保険事業計  
画の改定に伴い、令和3  
年度から令和5年度まで  
の保険料を改定するため、  
条例の一部を改正した。

質問

A8プランや保険料に  
ついて議論が必要では。

討論

反対する。介護保険制  
度が今後どうなるかわか  
らないし、コロナ禍で二

重苦になる。

**議案第18号**  
厚真町国民健康保険条例  
の一部改正

改正の趣旨

平成30年度税制改正で、  
個人所得税が見直しされ、  
給与所得控除及び公的年  
金等控除を10万円引き下  
げるとともに、基礎控除  
が10万円引き上げられた。  
施工期日  
この条例は公布の日か  
ら施行する。

**議案第22号**

厚真町営住宅の設置及び  
管理に関する一部改正

改正の内容

住宅入居の手続きを変  
更した。主な変更内容は、  
敷金、保証金の減額等。

**議案第26号**

財産の譲与

財産の名称  
厚真町循環福祉バス  
評価額  
15万円

譲与先

厚真町社会福祉協議会

譲与の目的

通所型サービスA事業  
の利用定員を拡充するた

め。

議案第27号  
第4次厚真町総合計画基本構想の変更

基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されていた総合計画を、復旧復興計画(第3期)、第2期総合戦略及び厚真町強靱化計画を一体的に策定した。主な変更は、あつま版ネウボラの推進を妊活期から子育て期にかけた包括的事業の推進にした。

また、防災強化についても胆振東部地震の教訓を生かして「災害に強いまちづくり」を入れた。ほか北部地域の整備などが新たに盛り込まれた。

議案第30号  
令和2年度厚真町災害復旧事業実施に係る道代行の細目協定の変更

協定金額の変更  
24億1958万円を6億3223万円に変更する。

議案第31号  
豊沢地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事(その1)請負契約の変更

変更内容  
工事内容の変更に伴う契約金。  
変更金額  
6億8447万円を6億9122万円に改める。  
契約の相手方  
岩倉建設株式会社苦小牧本店

報告第1号  
新町地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事(その1)請負契約の変更

変更内容  
工事内容の変更に伴う契約金。  
変更金額  
2億311万円を2億420万円に改める。  
契約の相手方  
盛興・丸博野沢特定建設工事共同企業体

# 一般会計補正予算

6億7384万円を減額し、歳入歳出予算の総額が  
146億2133万円となる

## 医療福祉介護保育従事者慰労金交付事業

補正額 850万円  
住民課福祉G

新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクの高い方との接触を伴うが、必要な業務の継続が求められる職員に対し、厚真町独自の慰労金をあつまるポイントで支給する。

### 事業概要

- (1)町内の医療・介護・保育施設等に勤務する職員に対し、町独自の慰労金の支給を行う。
- (2)慰労金の対象者  
令和2年1月28日～令和3年1月31日の間に延べ10日以上町内の以下の施設等に勤務した者  
医科又は歯科に係る診療を行う施設  
社会福祉法人が運営する施設、介護サービス施設  
特定非営利活動法人が運営する介護サービス施設  
保育所型認定こども園  
放課後児童健全育成事業を実施する施設
- (3)支給金額  
社会保険加入者 3万円分のポイント  
社会保険未加入者 2万円分のポイント

### 財源内訳

一般財源 850万円

## 公営住宅維持補修事業

補正額 1000万円  
建設課建築住宅G

災害公営住宅の融雪水等がポーチ等に流入するのを防止するための施設改善と排水処理を円滑にする。

また、ポーチに建具を取付ける。

### 事業概要

- (1)対象住宅  
災害公営住宅(新町のぞみ団地、本郷きずな団地、上厚真あかり団地)、新町のぞみ第2団地(1号棟、2号棟、3号棟)
- (2)整備場所  
新町地区、本郷地区、上厚真地区
- (3)予算額  
1000万円
- (4)工事内容  
①災害公営住宅  
外構整備、雨桶取付、ポーチ建具取付  
②新町のぞみ第2団地  
アスファルト及び縁石の撤去

### 財源内訳

一般財源 1000万円

## 第1回臨時会

1月15日開会

復興建設工事共同企業体

議案第3号

新町地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その1）請負契約の変更

変更内容

工事内容の変更に伴う

契約金

変更金額

1億9580万円を2億311万円に改める。

契約の相手方

盛興・丸博野沢特定建設工事共同企業体

議案第4号

指定管理者の指定（複合型地域福祉活動拠点施設）

施設名

まちなか交流館

指定管理料

2025万円

審査結果

令和3年度は現行の指定管理期間を一年間延長

指定管理者

特定非営利活動法人

ゆうあいネットあつま

議案第5号

指定管理者の指定（厚真町穀類乾燥調製貯蔵施設）

施設名

カントリーエレベーター

審査結果

候補者として選定

指定管理者

とまこまい広域農業協同組合

議案第6号

指定管理者の指定（厚真町有牧野宇隆牧場）

施設名

宇隆牧場

審査結果

候補者として選定

指定管理者

GOODGOOD合同会社

議案第7号

指定管理者の指定（厚真町有牧野幌里牧場）

施設名

幌里牧場

審査結果

候補者として選定

指定管理者

有限会社厚真ファーム

議案第8号

令和2年度厚真町一般会計補正予算（第14号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ793

万円追加し、歳入歳出の総額を145億1180万円とする。

予防接種事業

承認第1号

専決処分承認（令和2年度厚真町一般会計補正予算（第13号）

歳入歳出予算の総額に

歳入歳出それぞれ370

万円を追加し、歳入歳出

予算の総額を145億3

86万円とする。

新型コロナウイルス要配慮施設

従事者PCR検査実施事業

承認第2号

専決処分承認（財産の取得）

取得の相手方

株式会社カンバーランド・ジャパン

財産の名称

トレーラーハウス2棟

取得の方法

随意契約

取得金額

1030万円

承認第3号

専決処分承認（財産の取得）

取得の相手方

株式会社カンバーランド・ジャパン

財産の名称

トレーラーハウス2棟

取得の方法

随意契約

取得金額

株式会社カンバーランド・ジャパン

財産の名称

トレーラーハウス2棟

取得の方法

随意契約

取得金額

1346万円

## 第2回臨時会

2月19日開会

契約金

変更金額

2億1978万円を2億8341万円に改める。

契約の相手方

盛興・丸博野沢特定建設工事共同企業体

議案第3号

豊沢地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その1）請負契約の変更

契約内容

工事内容の変更に伴う

契約金

変更金額

6億6064万円を6億8447万円に改める。

契約の相手方

岩倉建設株式会社苦小

牧本店

議案第4号

令和2年度厚真町一般会計補正予算（第15号）

歳入歳出予算の総額に

歳入歳出それぞれ7億7

338万円追加し、歳入

歳出の総額を152億8

518万円とする。

エネルギー地産地消事業、

予防接種事業

変更内容

工事内容の変更に伴う

# 全員協議会

全員協議会が1月15日、2月19日に開催され、第4次厚真町総合計画の改訂など10の事項について、町から説明を受けた。

## 1月15日開催

### ◆第4次総合計画の改訂について

平成28年に第4次厚真町総合計画を策定したが、北海道胆振東部地震や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、基本構想の改訂を進め、素案の提示があった。主なものは、被災森林の機能回復、再生可能エネルギーの活用、災害に強いまちづくり、庁舎周辺整備等の説明。

### ◆厚真町議会議員及び厚真町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

公職選挙法の一部改正により、市と同様に町の選挙においても、ピラ・ポスターの作成等、公営対象拡大を行い供託金制度の導入を行うことの説明。

### ◆厚真町交流促進センターこぶしの運営状況について

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の対応や令和元年度3月分の損失補てんの実施、令和2年度の運営状況についての説明。

### ◆厚真町公営住宅等長寿命化計画について

第4次総合計画等を上位計画とし、災害からの復興と住民の多様なニーズや住宅需要に的確に対応するため、令和3年度から10年間の公営住宅等長寿命化計画の説明。

### ◆厚真高校魅力化促進事業における人材確保に向けた地域おこし協力隊制度の活用について

小規模校の厚真高校は現状のままでは入学希望者が減り続け、再編整備の対象となっている。一方全国では地方の公立高校の魅力化が進められている。厚真高校も新しい時代に対応した実効性の高い魅力化を打ち出していく、魅力化促進事業の今後の説明。

## 2月19日開催

### ◆第4次総合計画の改訂について

1月15日の全員協議会に続いてこの会でも第4次総合計画の改訂について、改訂版の素案の具体的説明。

### ◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について

全体状況、活用区分、今後の取組みについて説明。

問 今後の取組みについて事業者の50%未満の所への助成はあるのか。  
答 令和3年当初予算で予算計上している。基本

的には国が考えている対策以上に町として単独で配慮している。

問 子ども園でノロウイルスがあったが、コロナ対策は大丈夫か。

答 感染拡大防止についてノロウイルスも含めて迅速に適正な対応をして、もう一度足元をしっかりと見直してまいりたい。

### ◆令和2年度厚真町複合型地域福祉活動拠点施設の運営状況について

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の対応として臨時休業を行った事など、令和2年度決算見込みの売上収入は半減したと報告。

問 充填豆腐製造機不具合から2か月の販売停止は長すぎないか。  
答 異物除去確認に時間を要した。

### ◆サテライトオフィスの利用状況と今後の計画について

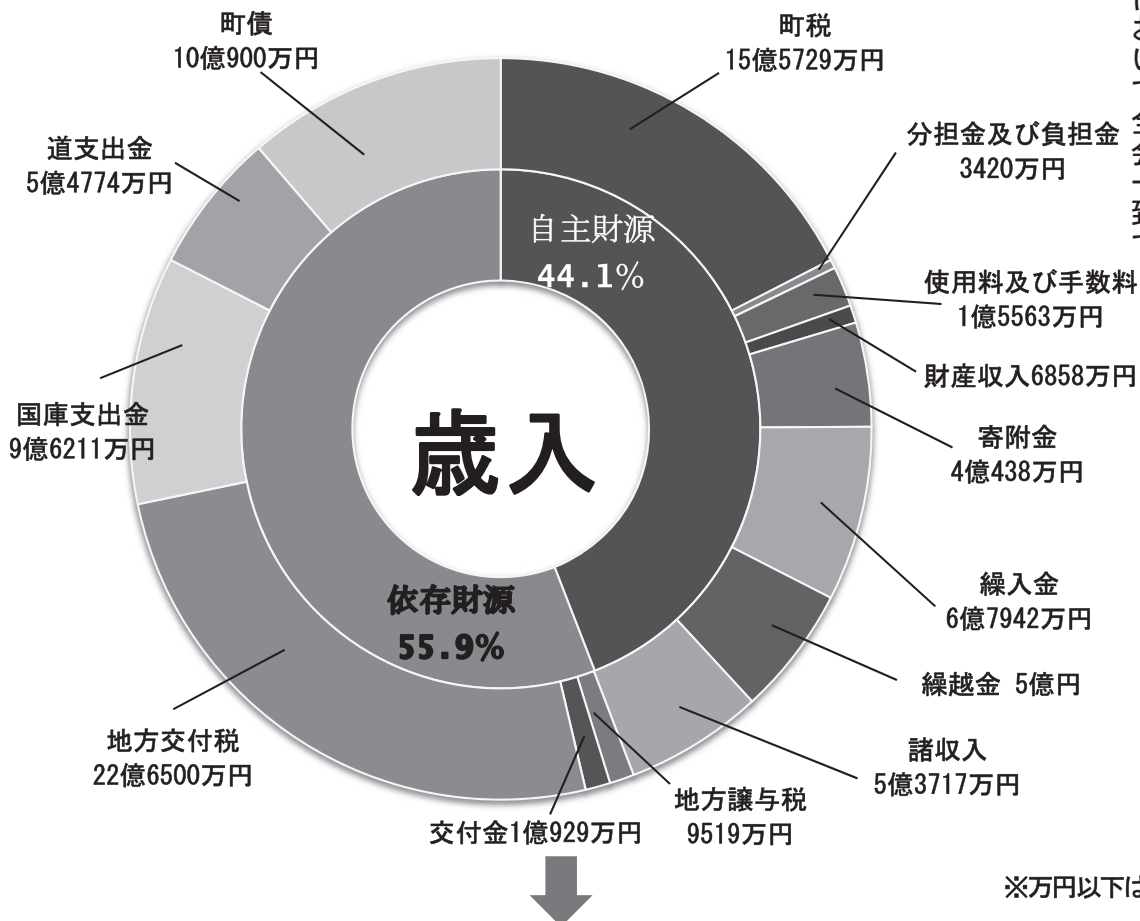
コロナ禍の中テレワークが進み、政府推奨の働き方改革と地方創生事業としてサテライトオフィスが進行。現在厚真町には「お試し」と「シェア」が新町・上厚真に設置されている。今後旧厚幌ダム事務所とムービングハウス（3棟）を整備していく計画の説明。

### ◆関係機関との包括連携等の締結状況について

会社・大学等と地域振興・人材育成等の包括連携協定を結んでいる報告。自衛隊・トラック協会等と防災協定を結んでいる報告。ほか家畜伝染病、産業・観光、福祉に関する協定の説明。

# 令和3年度予算

令和3年度各会計歳入歳出予算は、3月10～15日の4日間、予算審査特別委員会（高田芳和委員長）で慎重に審査を行い、3月16日開催の第1回定例会において全会一致で可決しました。



## 【別表】 交付金 (内訳)

交 付 金	利子割交付金	50 万円
	配当割交付金	120 万円
	株式等譲渡所得割交付金	100 万円
	法人事業税交付金	1259 万円
	地方消費税交付金	9000 万円
	自動車税環境性能割交付金	200 万円
	地方特例交付金	100 万円
	交通安全対策特別交付金	100 万円
	合 計	1 億 929 万円

### (予算内容)

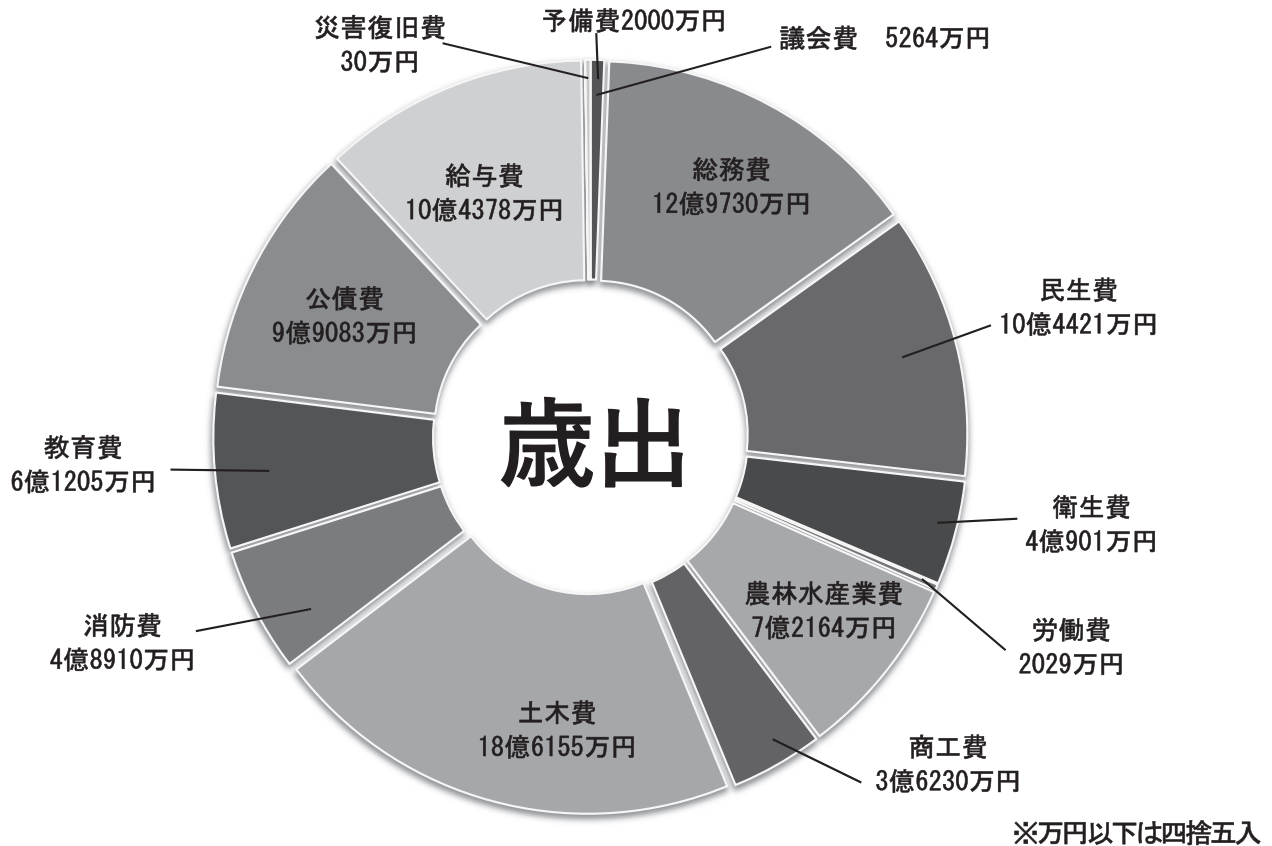
今年度の予算額は、一般会計・特別会計総額で112億1470万円と、前年度当初予算より約3億円減（-21.1%）の予算が計上されました。

一般会計は、道営ほ場整備事業や宅地耐震化推進事業等の減により、前年度比24.7%減の89億2500万円となりました。

また、特別会計は、簡易水道事業等の減により前年度比3.3%減の22億8970万円となりました。

# 各会計総予算 112 億 1470 万円

一般会計総額 89 億 2500 万円（前年度比△ 24.7%）



特別会計総額 22 億 8970 万円（前年度比△ 3.3%）

会計名	予算額	対前年度比(%)	
国民健康保険事業	5 億 8440 万円	1.0	
後期高齢者医療	8960 万円	8.0	
介護保険事業	保険事業	5 億 9190 万円	6.3
	介護サービス	3980 万円	△ 3.9
簡易水道事業	7 億 300 万円	△ 19.1	
公共下水道事業	2 億 8100 万円	17.1	

## 基本目標・施策に基づく主な予算

「人が輝くあつま」	子ども・子育て支援・学校教育・社会教育の充実 生涯スポーツの振興、まちづくり人材の育成	9 億 1403 万円
「健やかで安心なあつま」	高齢者福祉・介護・社会福祉・障がい者福祉・保健・医療の充実	8 億 5453 万円
「みのり豊かなあつま」	農業・林業・水産業・商工業の振興、観光・交流のまちづくりの推進	11 億 1120 万円
「快適に暮らせるあつま」	都市基盤の充実、環境保全の推進、快適な住環境の確保と定住化促進・消防・防災の強化、防犯・交通安全対策の強化	32 億 784 万円
「みんなで支えるあつま」	住民自治の推進、健全な行政運営の推進	15 億 38 万円
「災害復旧・復興」	復旧事業・災害関連	2 億 2675 万円

# 令和3年度主要な新規事業予算(抜粋)

## 関係人口創出事業

予算額 402万円

地方創生・復旧復興計画策定室

北海道胆振東部地震の影響や人口減少、高齢化により不足する地域づくりの担い手確保に向けて、継続的に多様な形で係わる「関係人口」の創出・拡大を目指し、空き家や空き地、移住者や関係人口のマッチングによる有効活用の調査・分析を行う。

### 財源内訳

国支出金	195万円
町の財源	207万円

## こども園魅力化指導事業

予算額 600万円

住民課子育て支援G

こども園の魅力向上のため、令和3～4年度にかけて先進法人に指導者の派遣を委託し、技術的指導を行う。

### 財源内訳

町の財源	600万円
------	-------

## 新型コロナウイルス感染症対応融資 (福祉医療)

予算額 184万円

住民課福祉G

新型コロナウイルス感染症の拡大に起因して、事業活動に影響を受けている町内の福祉・医療事業を運営する法人等に対し、事業資金を早急に融通し、事業運営の円滑化と返済財源の負担軽減を図る。

### 財源内訳

その他財源 (新型コロナウイルス感染症対応基金繰入金)	184万円
--------------------------------	-------

## 小規模事業者経営持続化支援給付金 交付事業

予算額 2310万円

産業経済課経済G

新型コロナウイルス感染症拡大(第3波)に起因して、事業活動に影響を受けた事業者の固定経費等にかかる負担を軽減し、事業運営の円滑化を図り、経営への不安を解消して経営の持続化を支援する。

### 財源内訳

国支出金	2310万円
------	--------

## 重層的支援体制整備事業

予算額 1694万円

住民課福祉G

改正社会福祉法に基づき、相談・参加・地域づくりに向けた支援を一体的に行うことを目的に創設された重層的支援体制整備事業を令和5年度から実施するため、各相談支援体制整備の推進・支援関係機関等との連携体制の構築、多機関協働、アウトリーチ等通じた継続的支援、参加支援を実施するため、令和3・4年度に移行準備の事業を実施する。

### 財源内訳

国支出金	1267万円
町の財源	427万円

## エネルギー地産地消事業

予算額 4億3991万円

産業経済課経済G

北海道から事業認定を受けた「エネルギー地産地消事業化モデル支援事業」において、町の中核施設の総合ケアセンターゆくり、給食センター、スタードームに再生可能エネルギー等の設備を導入し、温室効果ガス排出の抑制と同時に、非常時・平常時に利用可能なエネルギーを確保する。

### 財源内訳

その他財源	
エネルギー地産地消事業基金繰入金	1億600万円
エネルギー地産地消事業貸付収入	3億1569万円
町の財源	1822万円



## 古民家再生推進事業

予算額 7216万円

産業経済課経済G

厚真町開拓期の歴史的遺構である古民家を移築再生により活用し、町の交流促進と活性化を図る。

### 財源内訳

国支出金	2925万円
地方債	3870万円
その他財源(古民家使用料)	56万円
町の財源	365万円

## 地域おこし協力隊活動事業

予算額 7892万円

産業経済課経済G

厚真町で起業を目指す起業家人材(起業型地域おこし協力隊)の育成・誘致に加え、既に町内で起業もしくは新規事業を立ち上げて間もない事業者と事業を共に創れる人材を配置すること等で先進的な事業及び新規雇用などを推進し、地域の活性化を図る。

### 財源内訳

町の財源	7892万円
------	--------

## 森林組合施設整備支援事業

予算額 1853万円

産業経済課林業水産G

苫小牧広域森林組合が更新する製材機械等の整備費用に対し、構成6市町により財政支援を行うことで地域材の利用推進、地域産業の振興を図る。

### 財源内訳

町の財源	1853万円
------	--------

## 観光施設整備事業

予算額 4560万円

産業経済課経済G

観光施設を整備することにより、町民における利便性の向上並びに地域外からの交流人口の増加を図る。

### 財源内訳

道支出金	2280万円
その他財源(ふるさと応援基金繰入金)	2000万円
町の財源	280万円

## 鯉沼地区配水管布設事業

予算額 1701万円

建設課上下水道G

大沼野営場に給水するため配水管の整備を行う。

### 財源内訳

地方債	1700万円
その他の財源(一般会計繰入金)	1万円

## 幌内地区環境整備事業

予算額 950万円

建設課土木G

厚幌ダム及び厚真ダム周辺環境整備を行うことで町内外からの集客を図るとともに、町民の憩いの場、地域の活動の場として環境緑地を整備し地域の活性化を図る。

### 財源内訳

町の財源	950万円
------	-------

## 厚真中学校陸上グラウンド整備事業

予算額 330万円

学校教育G

厚真中学校グラウンドを競技人口が多い陸上競技の公認競技場に改修することで、学校体育施設の活用度を高め、競技環境の充実と振興を図る。

### 財源内訳

地方債	330万円
-----	-------

## 厚真町教育研究所運営事業

予算額 60万円

学校教育G

これまで推進してきた英語教育、ふるさと教育、授業づくり、特別支援教育などの個別教育施策を小中一貫教育として統合し一体的に推進するため厚真町教育研究所を設置・運営する。

### 財源内訳

町の財源	60万円
------	------

# 委員会 レポート

## 総務文教常任委員会

委員会（高田芳和委員長）は1月25日事務調査（2件）を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。

### こども園の民営化の 取り組みについて

#### 厚真町の目指す保育

令和元年度に策定した「第2期厚真町子ども子育て支援事業計画」では「子どもの育つ力を伸ばす」を基本目標としている。幼児期に厚真町の未来を担う子ども達の「自ら育つ力」を育てることが大切だと考えている。「自ら育つ力」とは自分で考え、やりたいことを見つけ、意欲的に自ら挑戦する力、友達や保育者とコミュニケーションを取りながら、人と関わる力を身に付けることをこども園において最も大切にしたい。

#### 現状の課題

質の高い保育・幼児教育を提供するため、令和2年度は保育環境指導の専門家に講師を依頼し、研修し「自ら育つ力」を育てるための保育環境整備等について試行錯誤の上、改善を積み重ねているが、外部講師の研修の

みではスピード感を持つて進めることは難しい状況にある。

#### 国の動き

国においては、保育サービスの質、事業の継続性や安定性が確保されることを前提に民営化を推進している。

#### 民営化を目指す認定こども園

上厚真市街地は、子育て支援住宅・上厚真ざらりタウンが整備され移住された子育て世帯の多い地区であり、魅力ある認定こども園運営を目指すことで、更なる子育て世帯の移住を見込むことができる宮の森こども園とする。

#### 民営化の時期

令和5年度内を予定している。

#### 問 宮の森こども園を民営化した場合の保育料、勤務する保育士の賃金をどのように考えているか

こども園つきまきはどうか。  
答 保育料の利用者負担額は民営・町直営に関わ

らず大きく変動することは無い。保育士に対する身分、待遇の保障は必要と考えている。こども園つきみについては、公立のこども園として運営する方針である。

#### 問 幼児教育の面で差が出ないか。

答 保育の方法により差が出てくることはあると思う。

#### 問 保護者は公設民営を望んでいるのか。

答 保護者に説明し、理解を得ていくことが大事と考えている。

### 循環福祉バスの運行の見直しについて

#### 利用者から見た問題点

- ・ 行きたい目的地に行けない。
  - ・ 乗りたい時間に乗れない。
  - ・ 乗り方が分からない。
  - ・ 市街地住民が利用できない。
  - ・ 市街地の移動手段が少ない。
- 事業実施主体が抱える問

#### 題点

- ・ 運休回数が多く、待機時間も長いなど、車両1台あたりの運送効率が悪い。
- ・ 利用者数が年々減少している。

- ・ 現在、デマンド運行ではあるものの、実態としては定時定路線運行に近く、住民の多様な移動ニーズに対応できていない。
- ・ 幅広い目的地へ移動できる、より柔軟な運行の実現。
- ・ 乗りたい時間帯に利用でき、待ち時間の短縮を図るための運行便数の増加。

#### 課題

- ・ 市街地住民を対象とする利用者の拡大。
- ・ 市街地移動サービスの新設。
- ・ 車両1台当たりのフル活用による運行の最大効率化。
- ・ 事前登録方法の見直し、エリア運行による分かりやすい時刻表などによる初回利用時の心理的ハ

ドルの低減。

#### 実証運行

AI配車システムを活用した相乗りを前提とする最適の運行ルート選定や、市街地におけるリアルタイム配車による新たな輸送サービスの実証運行を令和3年5月から令和4年3月まで行う。

問 実証運行の予約方法が電話とWebということだが、予約方法について窓口で教えてもらえるのか。

答 利用方法の説明会を開催する。

#### 問 実証運行の内容は。

答 北部エリアと新設する市街地エリアとを考えている。

#### 問 日曜日の運行を考えているか。

答 アンケート調査の結果、7割の方が必要ないとの回答であったため現時点では考えていない。

# 委員会 レポート

## 産業建設常任委員会

委員会（下司義之委員長）は、1月26日に現地調査（1件）と事務調査（4件）を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。

### 青果物集出荷貯蔵施設利用状況について

#### 現地調査

青果物集出荷貯蔵施設

#### 事務調査

本施設は平成29年度に建設された施設で事業の目的は、氷室メーカーの生産、ハスカップの集出荷貯蔵、ほうれん草、グリーンアスパラの受け入れ出荷を行っている。施設は鉄骨平屋建て床面積1454㎡で事業費は4億9194万円である。

説明員としてとまこまい広域農協から4人の職員の方に出席いただいた。

#### 【主な質疑】

問 氷室のキャパが270tとなっているが、利用は60数tとなっている。フル活用して組合員に利益を還元する方法は。  
武田参考人 現在の取り扱いには67tで、さらに広がる見込みはあるが、270tとなるとかなり時間がかかると思われる。

### 町内林業関係者の状況について

#### 事務調査

厚真町森林資源の活用を担う、林業事業者の状況を調査した。

現在林業事業者は4事業体で、法人は1社となっている。

#### 【主な質疑】

問 今後の林業を考えた時に地域おこし協力隊が中心になって林業を盛り上げていくと考えてよいのか。

林業水産G主幹 現在の地域おこし協力隊は重機を持たずに植え付けや下草刈りなどの作業を行っている。

林業は大きな重機を持たなければできない仕事と、重機を持たずにできる仕事がある。

扱う品も現在A品で良いものとしていますが、B品・C品も貯蔵して販売し、全体の価格上昇と所得向上につなげていきたい。

### 古民家再生事業について

#### 事務調査

古民家再生事業は、旧畑島邸（フォーラムヴィレッジに移設済）からはじまり5棟の取り組みを行っている。今後の計画を調査した。

#### 【主な質疑】

問 旧畑島邸に関しては大きな計画の中での位置づけになると思うが。

産業経済課長 旧畑島邸に関しては、森林と共生できるスペースという事で、環境保全林を活用した一体型の構想をお願いしている。

### 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について

将来的にそういう方々が連携しながら間伐等の事業について取り組んでいくという事は、今後の厚真町林業振興に重要である。

#### 事務調査

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画作成中の計画を調査した。

#### 【主な質疑】

問 都市計画区域指定のメリット、デメリットは。建設課都市計画担当参事 メリット・デメリットは無いと考えている。

副町長 苫小牧東部開発の関係で大枠を変えるのは難しいと考えている。

#### 付託事件審査

◇花卉の道外市場における掛かり増し経費への支援対策について

#### 経過

令和2年12月11日に付託された本陳情は、令和3年2月17日に委員会を開催し、陳情者であるとまこまい広域農業協同組合代表理事組合長代理2人及び厚真町花卉部会長を参考人として出席を求め、陳情の趣旨等を聴取した。

#### 結果

本陳情は、令和2年第4回定例会で支援に関し

補正予算措置され、花卉生産者へ既に補助金が交付されていることから、議員配布と決定した。

◇新町町民広場野外炉（バーベキュー場）の代替地への新野外炉設置に関する要望について

#### 経過

令和2年12月11日に付託された本陳情は、令和3年2月17日及び2月26日に委員会を開催し、現有の新町町民広場野外炉を現地調査するとともに要望内容等について慎重に審査を行った。

#### 結果

現有の新町町民広場野外炉が今後周辺の地域住民等に悪影響を与えることは理解しつつも、新野外炉を設置するか、移設するか、また、現有野外炉の補助金返還等の協議が不足しているとし、不採択と決定した。

# 委員会 レポート

## 北海道胆振東部地震復興特別委員会

特別委員会（吉岡茂樹委員長）は、1月29日に事務調査（1件）を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。

宅地耐震化推進事業  
（新町地区・豊沢地区）  
について

### 現地調査

※悪天候のため延期

### 事務調査

主な説明内容

平成30年9月6日未明に発生した「北海道胆振東部地震」により、新町地区・ルーラルヴィレッジ地区は、大きな被害を受け、宅地耐震化推進工事を実施する。大規模盛土造成地を中心に、地区のボーリング調査により滑動崩落防止工事を実施する。

### 令和2年度分

工事終了は令和5年度を予定

### 1. 豊沢地区

ルーラルヴィレッジ地区

- ・抑え盛土工5か所
- ・抑止杭工10か所

### 2. 新町地区

- ・新町パークタウン地区
- ・地下排水立坑14か所

- ・地下排水管路工
- 245メートル

### 用語説明

#### ◎抑え盛土工

・軟弱な地盤の対策として行う工法で、切込砕石0～80mmを使用し盛土を行い、荷重をかけ、基礎地盤の滑りに対する安全性を確保する工法。

#### ◎抑止杭工

・抑止杭（鋼管杭）を地中に複数設置して、今後の地滑り発生を抑制する工法。

#### ◎地下水排除工

・地下深い位置の地下水を速やかに排除することで、今後の地滑り発生を抑制する工法。

上記2地区の耐震化推進事業について今後、年度毎の事業計画と本年度事業の事務調査を行った。

### 【主な質疑・意見】

- ・場所によって抑止杭の長さが違うのか。

- ・耐震化事業は、活断層的・地滑り的なのかを調査しているのか。
- ・地震後の土地の移動・変形があるのか。
- ・対策工事を行っているが、今後の地震などの想定震度の想定は。
- ・令和3年より、本件の豊沢地区で地籍調査が始まるが、地籍調査の中身は、どうなっているのか。
- ・地籍調査は、地区を限定してやるのか、全体を対象としているのか。

### 宅地耐震化推進事業 業務予定（令和3年度～令和5年度）

地区名	面積	種別	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新町地区 パークタウン新町	10.5ha	対策工事	・地下水排除工（推進工） ・既設排水管迂回工		
		補償用地	・用地補償業務		
		用地	・地籍調査準備	・地籍調査	・地籍調査
豊沢地区 ルーラルヴィレッジ	43.5ha	対策工事	・抑え盛土工 ・抑止杭工 ・地下水排除工（推進工）	・地下水排除工（推進工） ・明暗渠工	・地下水排除工（推進工） ・明暗渠工 ・地表面排水工
		付帯工事	・合併浄化槽排水改善 ・景観復元	・合併浄化槽排水改善 ・景観復元	・合併浄化槽排水改善 ・町道改修 ・景観復元
		補償用地	・用地補償業務	・用地補償業務	・地籍調査

## 災害公営住宅

### 水の流入の原因と対策は

#### 答 凍上と排水の逆流



伊藤富志夫 議員

問 災害公営住宅等の融雪水等の流入について、なぜこのような基本的な問題が発生したか、抜本的な対策はどのように考



水の流入があった災害公営住宅

えているか。また、来客用の駐車場、談話室の設置は出来ないか。  
災害公営住宅等利用者に国民年金生活者にとつては、家賃・暖房費の負担が大変大きい。家賃の軽減や冬の生活支援制度の特別版のようなものを設ける事は出来ないか。

町長 なぜこういう事象が生じたかは、バリアフリー規格にした事、建物周辺で凍上が起き、建物外周に配水されるはずが逆流したため。対策としては、菜園部分の高さを下げ、舗装部と菜園部の間の排水を良くするため改修する。また雨樋の設置、玄関風除室等の舗装下に断熱材を敷く。駐車場は隣接する町有地を開放する。談話室は検討する。家賃暖房費等の段階的減額措置はとれないが、町としては給付型の支援をさせていただく。

## 冬の生活支援

### 制度の支援内容を改善できないか

#### 答 下限値設定を検討

問 高齢者等の冬の生活支援事業が行われているが、昨年度と今年度の支援金額が2万円の差がある、その理由は。また国民年金生活者にとって冬期間の灯油代、電気代の負担は厳しいものがあり、この制度の支援内容の改善と増額は出来ないか。

支給するこの支援が結果2万円の差額になったが、大幅な変動を生じさせないため、今後は給付の下限値を検討する。

町長 この冬の生活支援事業の原資は、北海道の地域づくり交付金としており、道が町の支出の二分の一か50万円上限で手当てをしている。

今回の2万円の差額は、灯油単価の変動、電気料単価の変動による差額で

## 一般質問

ここが聞きたい

## 公営住宅

# 入居率を向上させる方策は

**答** P R を積極的に行う



橋本 豊 議員

**問** 町が被災者向けに建設した公営住宅の入居率が6割程度に留まっている。多額の経費を投じて建設したにもかかわらず空室状況の長期化で家賃収入の見込みを下回ることによる町財政への影響はないのか。入居率を向上させる方策は考えているのか。駐車場は足りているのか。

**町長** 被災者向け公営住宅であるので被災者に優先的に入居して頂きなが

ら一般公募も行い、全46戸中29戸の入居があり、入居率は63%となっている。現在の状況については、全体の住宅政策として捉えて問題解決を図っている。今後も町ホームページ併せて町外者をターゲットとしたP Rを積極的に行う。駐車場については隣接して町有地があるので、来客用駐車スペースとして活用する準備をしている。



被災者向けに建設した公営住宅

## 環境衛生

# ごみステーションの配置及び増設は

**答** 増設は難しい

**問** 本町では各地域にごみステーションが配置されているが距離に応じて配置の改善や増設はできないか。

収集の遅延にもつながることから難しい状況となっている。既存のごみステーションボックスを移動することは可能となるが、自治会が行うこととなる。

ごみステーションが小動物により荒らされているのを見かけることがあるがその対策は、また地域外の者がごみステーションにごみを入れ地元住民の使用に不便をきたしている。それらを防止する啓発等の対策は。

また、小動物、地域外の者がごみステーションにごみを入れるなどの啓発については注意喚起の張り紙を作成するので必要な自治会があれば配布する。

**町長** 現在、ごみステーションボックスは町内に154基あり、安平厚真行政事務組合が委託した2事業者で収集している。収集場所の増設は、ごみ



高田芳和 議員

## 人材確保

# 町内事業所に就職する方への支援

### 答 優遇措置を考えていきたい

問 事業活動を安定的に発展継続させていくためには、長期的に働いてくれる人材の確保が重要である。本町では、介護職員育成支援事業等で人材確保に努めているが、これだけではインパクトが薄い。

厚真町に住んで厚真町で働きたいと思われる条件整備として、町内の事業所に就職される方に対し育英資金の償還免除、さらには町独自の魅力あ

る奨励金を支給する考えがないか伺う。

教育長 特定業種へのUターン就職者に対する育英資金の償還免除について、町長から検討してはどうかと問いかけてあった。

町長 本コロナ離職者あるいはコロナを機に田舎に仕事場や生活の場を求めめる方々をターゲットに様々な対策を講じている所である。

今、厚真町にとって緊急課題は福祉現場の人材不足である。高等教育で都市圏に出た学生が厚真町を選択しやすい優遇措置をセットで考えていきたい。

## 生活環境

# ペットの火葬場設置を

### 答 議論を重ねていきたい

問 ペットは大切な家族の一員として共に暮らしている。ペットが亡くなった時、町内にペットの火葬場がなく近隣の火葬場を探すのに苦労している状況にある。また、費用も5万円位必要となり年金生活者にとっては大きな経済的負担となる。ペットの死後のことを心配しなくてもよいように、ペットの火葬場を設

置すべきと思うが、町長の考えは。

町長 胆振東部地震の際に仮設住宅に入居する時、災害公営住宅に入居される時もペットの大切さ、心のよりどころにしている飼育者の気持ちは十分理解した。

飼育者が不安に思われることは理解するが、改めて建てるには非常にハードルが高いので、近

隣の事業者を使っていた。ただ、やむを得ない事情の方にどう支援するのか、もう少し皆さんと議論を重ねていきたい。



## 一般質問

ここが聞きたい

## こぶしの湯

# こぶしの湯大改修及び周辺計画は

**答** 2025年を目標にしたい



下司義之 議員

問 ①H30年胆振東部地震前に、こぶしの湯大改修の計画があったが、どうなったか。  
②こぶしの湯周辺活用に関し、もう一度計画作りをしては。  
③基本計画作成にあたり、協議会的な活用者の意見を反映できる仕組みを作っては。

町長 ①H28熊本地震をきっかけに役場本庁舎建替えを検討する事になり、こぶしの湯は震災による応急修繕にとどまっている。

②こぶしの湯周辺も含めた活用に関し検討する必要性は感じていて、2025年を目標にしているが、ゾーニングなどの計画作りに関しては、早すぎる事は無いと思う。

③たくさんの人に利用して頂ける施設にしたいという思いのある方にアイデアを出して頂くのは非常に良い事だと思う。

## 公共施設

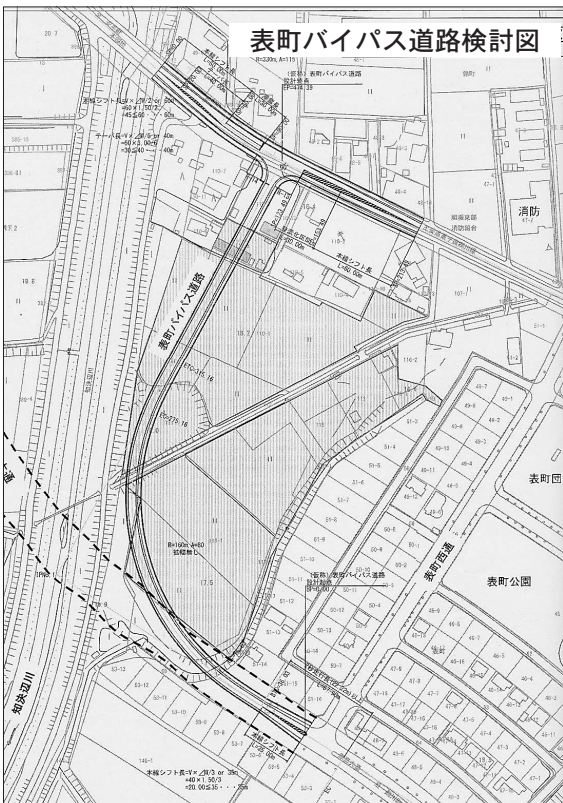
# 町道整備計画は

**答** 新町・上厚真北部も考えている

問 ①H30年胆振東部地震により町道もかなり影響を受けた。幹線道路の復旧は進んでいるが、生活に密着した住宅地内の整備はまだまだ不十分である。

住宅地内の道路整備計画が作成されているか、本郷ともいきの里の前整備は優先すべきでは。

②新町及び上厚真周辺は、近年公営住宅の再配置などにより交通導線が変化しているが、道路計画の見直しが必要では。



町長 ①町内全体で町道は270路線あり、98路線で災害復旧工事を行った。

住宅地では今一番問題になっているのは、新町パークタウン、ルーラルヴィレッジである。

道路整備に関し市街地

自治会からは要望が少ないと感じているが、表町西通りは、大型車両の通行影響等に関し要望が出ているので、バイパスを考えている。

本郷ともいきの里前は優先すべきと考える。

②新町地区、上厚真市街地北部地区は、優先的に整備計画を立てようとしている。

**（こんな質問もしました）**  
問 特産品開発機構のあり方を検討すべき時期では。





秋永 徹 議員

### 役場新庁舎建設

## 復旧・復興中で時期尚早では

### 答 町民の意見を聞く

問 胆振東部地震から2年6カ月・3年目に入り、復旧・復興がされている最中である。

被災された方々が仮設住宅から災害公営住宅に移ったばかりで、亡くなられた方々がいる鎮魂の思いの中、前向きに動き始めたところである。

また、新型コロナウイルスの影響により本町の産業は厳しい経営状況であり、庁舎周辺等整備基

本計画については、時期尚早では。

町長 地震を経験した後、我々がまず真っ先に考えたのは、第1に耐震性能の担保された防災拠点施設を早急に整備する。

第2に現庁舎が震度7の地震にも耐え、建築学会等からすばらしい評価を受け、震災遺構として活用する。

第3に埋蔵文化財の展示施設設置の早急な必要性もあり、基本構想等を早期に策定し、庁外機能及び事業規模、建設位置等について、町民の皆さんからご意見を伺う機会を設け、令和5年度の完成を一つの目安とさせていただきます。

### 農地の流動化

## 関係機関との構築は

### 答 調整機能が必要

問 農業従事者・中心的经营体の高齢化・減少が進む中、耕地面積の年代別農地集積率はいくらか。

また、中心的経営体が5年後・10年後どのような予測をし、集積化・集約化に向けて課題はあるのか。新規就農者対策で地域おこし協力隊農業支援員が農業担い手センタ一の核として4年目から就農をめざして活動しているが、農地の取得で新規就農者と既存の担い

手との調整システムを関係機関と構築しなければならぬのでは。

町長 令和2年現在で耕地面積5577ha、担い手への農地集積面積4872ha、集積率87・4%になる。年代別では20歳代から30歳代11%、40歳代16%、50歳代26%、60歳代30%、70歳代17%、特に75歳以上44名で383haである。令和2年の中心的経営体は199戸



厚真町農業担い手センター

〈訂正とお詫び〉  
No.181号の15ページ最下段の町長回答3行目「50%未満」は「50%以上」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

## 定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

### 第1回臨時議会 令和3年1月15日

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町新型コロナウイルス感染症対応事業基金条例の制定	賛成全員
議案第2号	平成30年災第712号町道幌里沢線災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第3号	新町地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その1）請負契約の変更	賛成全員
議案第4号	指定管理者の指定（複合型地域福祉活動拠点施設）	賛成全員
議案第5号	指定管理者の指定（厚真町穀類乾燥調製貯蔵施設）	賛成全員
議案第6号	指定管理者の指定（厚真町有牧野宇隆牧場）	賛成全員
議案第7号	指定管理者の指定（厚真町有牧野幌里牧場）	賛成全員
議案第8号	令和2年度厚真町一般会計補正予算（第14号）	賛成全員
承認第1号	専決処分の承認（令和2年度厚真町一般会計補正予算《第13号》）	承認全員
承認第2号	専決処分の承認（財産の取得《トレーラーハウスの取得》）	承認全員
承認第3号	専決処分の承認（財産の取得《トレーラーハウスの取得》）	承認全員

### 第2回臨時議会 令和3年2月19日

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町エネルギー地産地消事業基金条例の制定	賛成全員
議案第2号	平成30年災第706号普通河川チケッペ川ほか災害復旧工事請負契約の変更	賛成全員
議案第3号	豊沢地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その1）請負契約の変更	賛成全員
議案第4号	令和2年度厚真町一般会計補正予算（第15号）	賛成全員

### 第1回定例議会 令和3年3月8日（第1号）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第11号	厚真町教育研究所の設置に関する条例の制定	賛成全員
議案第12号	厚真町議会議員及び厚真町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	賛成全員
議案第13号	厚真町民交通傷害保障条例の廃止	賛成全員
議案第14号	厚真町表彰条例の一部改正	賛成全員
議案第15号	厚真町循環福祉バス運行条例の一部改正	賛成全員
議案第16号	厚真町介護保険条例の一部改正 反対者3名（秋永議員 橋本議員 伊藤議員）	賛成多数
議案第17号	厚真町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	賛成全員
議案第18号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	賛成全員
議案第19号	厚真町都市公園条例の一部改正	賛成全員
議案第20号	厚真町道路占用料徴収条例の一部改正	賛成全員
議案第21号	厚真町普通河川及び準用河川に関する占用料等徴収条例の一部改正	賛成全員
議案第22号	厚真町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	賛成全員

## 第1回定例議会 令和3年3月8日（第1号）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第23号	厚真町単身者住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第24号	厚真町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第25号	厚真町子育て支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第26号	財産の譲与	賛成全員
議案第27号	第4次厚真町総合計画基本構想の変更	賛成全員
議案第28号	東胆振3町介護認定審査会共同設置規約の一部変更	賛成全員
議案第29号	東胆振3町障害支援区分認定審査会共同設置規約の一部変更	賛成全員

## 第1回定例議会 令和3年3月9日（第2号）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	令和3年度厚真町一般会計予算	予算審査特別委員会へ付託
議案第2号	令和3年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算	
議案第3号	令和3年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第4号	令和3年度厚真町介護保険事業特別会計予算	
議案第5号	令和3年度厚真町簡易水道事業特別会計予算	
議案第6号	令和3年度厚真町公共下水道事業特別会計予算	
議案第7号	令和2年度厚真町一般会計補正予算（第17号）	賛成全員
議案第8号	令和2年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）	賛成全員
議案第9号	令和2年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第10号	令和2年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
承認第1号	専決処分の承認（令和2年度厚真町一般会計補正予算《第16号》）	賛成全員
報告第1号	専決処分の報告（新町地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その1）請負契約の変更）	—

## 第1回定例議会 令和3年3月16日（第4号）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	令和3年度厚真町一般会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第2号	令和3年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第3号	令和3年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第4号	令和3年度厚真町介護保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第5号	令和3年度厚真町簡易水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第6号	令和3年度厚真町公共下水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第30号	令和2年度厚真町災害復旧事業実施に係る道代行の細目協定の変更	賛成全員
議案第31号	豊沢地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その1）請負契約の変更	賛成全員

# 議会のうごき

## 【1月】

- 10日 第73回厚真町成人式
- 11日 交通安全祈願祭
- 12日 議会広報特別委員会
- 15日 第1回臨時会、全員協議会
- 18日 議会広報特別委員会
- 22日 現金出納例月検査
- 25日 総務文教常任委員会、議会広報特別委員会
- 26日 産業建設常任委員会
- 29日 北海道胆振東部地震復興特別委員会、議会広報特別委員会

## 【2月】

- 3日 全国町村議会議長会Web会議
- 4日 胆振管内町村議会議長会令和2年度第2回定期総会
- 9日 新型コロナウイルスの影響長期化を踏まえて町内事業所の事業継続に向けた緊急要望来庁
- 17日 産業建設常任委員会（付託事件審査）

- 18日 北海道町村議会議長会正副会長会議・理事会、北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会
- 19日 第2回臨時会、全員協議会
- 25日 現金出納例月検査、産業建設常任委員会（付託事件審査）

## 【3月】

- 2日 議会運営委員会
- 3日 産業建設常任委員会（付託事件審査）
- 8日 第1回定例会（～16日）
- 9日 予算審査特別委員会（～16日）
- 16日 全員協議会、議員協議会、議員会総会、議会広報特別委員会
- 18日 胆振東部日高西部衛生組合議会第1回定例会
- 22日 とまこまい広域農業協同組合厚真地区農産物集出荷貯蔵施設竣工式・落成式
- 23日 胆振東部消防組合議会第1回定例会、安平・厚真行政事務組合議会第1回定例会
- 24日 北海道胆振東部地震復興特別委員会
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 厚真町農業再生協議会通常総会、令和2年度第3回厚真町農業振興協議会
- 29日 第3回臨時会、全員協議会、議会広報特別委員会
- 30日 全国町村議会議長会理事会

## 文化活動団体紹介 大正琴愛好会

紹介者 会長 阿蘇 美紀子さん

私たちのサークルは、大正琴愛好会と称し、現在10名の会員で自己研鑽につとめながら、地域文化の向上発展に寄与すると共に、会員相互の親和を図ることを目的として日々楽しんでおります。

発足から17年目になり、毎年、文化祭芸能発表会・歳末チャリティー芸能発表・町内町外の施設訪問等、多岐に渡り活動をさせていただいております。

大正琴は左右の指を使い、曲を奏でるのですが、脳の活性化のためにも良いのではと思っております。厚南会館で毎月2回のレッスンをしておりますが、現在コロナ禍のため月1回（そのつど曜日確認）、密にならないように心がけて楽しんでおります。大正琴に興味のある方、いつでも参加できますので、ご一報下されば幸いです。

- ◆平成18年4月設立
- ◆代表者 阿蘇 美紀子 さん
- ◆活動日時 毎月2回 午後6時  
（現在 毎月1回）
- ◆活動場所 厚南会館
- ◆連絡先 阿蘇 美紀子 さん  
（☎ 28 - 3616）

